

ヤマハピアノフェスティバル 2025 オクムラ楽器店別大会によせて

自然に囲まれ、広い空が印象的な恵那で、幼児から中学生まで 46 名の演奏を聴かせていただきました。寒い中、会場一杯にお集まりいただいたご家族や応援団、ご指導されている先生方の拍手がとても温かく、参加者の皆様がこのフェスティバルに向けて頑張ってきたのを感じました。

とても良く調整されたピアノを用意していただいたので、響きのある良い音で弾いてくださった方が多かったのはとても嬉しく思いました。

ただ音楽的な演奏を目指していらっしゃる方達に、ちょっと気付いた事を・・・

「ピアノ」という楽器は、両手で同時に音が出せるので、1人でアンサンブルができる素晴らしい機能を持った楽器なのですが、音にはそれぞれの役割があり、メロディにはメロディにふさわしい音、ハーモニーにはハーモニーにふさわしい音で弾く事が求められます。このことは誰もが意識して練習していると思いますが、弱音のコントロールをもっともっと大切にして快いアンサンブルを目指してください。慣れないうちは、先生やご家族と片手ずつ弾いて耳でバランスを覚えましょう。

ピアノは強弱だけではなく明るい音、暗い音、重い音、軽い音など様々な音が出せるのですが、いろいろな材質で作られたマレットで演奏できるマリimbaと違って、ピアノは自分の手だけであらゆる音色の変化を付けなければなりません。少しずつ手の基礎力を身につけながら、末永くピアノを弾き続けてくださるよう願っております。

言葉が尽きた所から音楽が始まる、と言われていています。何十年もピアノを弾いてきて、言葉では表現できない気持ちを、ピアノの音で語れる幸せを皆様と共有したいと思います。

2025年1月28日 伊藤仁美